

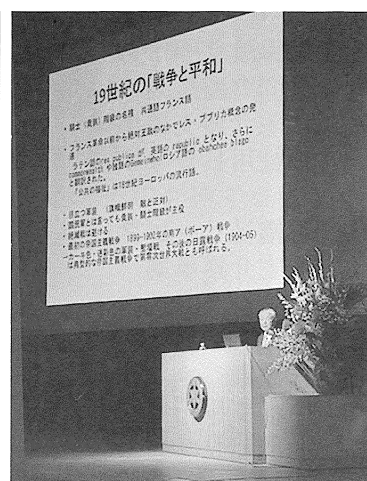
いわない 社協だより

岩内町社会福祉協議会

第
84
号

社会福祉法人
岩内町社会福祉協議会
〒045-0022
岩内郡岩内町字清住167
岩内町老人福祉センター内
TEL 0135-62-3328
FAX 0135-62-3859

令和7年12月1日



17年振りに小樽・後志社会福祉大会が岩内町で開催されました

令和7年9月25日(木)岩内地方文化センターにおいて、小樽・後志地区社会福祉協議会連絡協議会などが主催する第77回小樽・後志社会福祉大会が開催され、管内の社会福祉協議会や民生委員協議会、福祉関係者ら約180名が参加しました。

大会でははじめに、永年にわたり社会福祉の増進に寄与し功績のあった民生・児童委員、社会福祉協議会や福祉施設の役職員など57名が表彰されました。

続いて、岩内町文化団体協議会のご協力によりアトラクションが行われ、最初に、さつき舞踊会から立方 鷺田五月氏による、うちわを使いしっとりとした女舞「夢芙蓉」を披露。つづいて日本舞踊風張流好幸会から、立方 風張幸明(今泉明)氏より、かあさんと過ごした春・夏・秋・冬の思い出を綴った「山ざくらのうた」(さだまさし)の歌に合わせ踊りで表現され、最後は岩内歌謡ほたる会の高橋厚子氏より約10分の大曲である「歌謡芝居 九段の母」が披露され大きな拍手に包まれました。

アトラクション終了後は、ロシア近代史の専門家である岩内在住の加藤史朗 愛知県立大学名誉教授より『戦後80年ー今なお止まぬ「戦争」について考えるー』～トルストイ著「戦争と平和」を再読し、ウクライナ戦争などについて考えてみたい～と題した記念講演が行われ、約1時間半にわたり加藤名誉教授の貴重なお話を聞くことができました。

本大会は後志管内市町村の社会福祉関係者が一堂に会し、現在直面している地域課題について共通認識を深め、社会福祉のさらなる推進と住民参加による地域福祉の実現を図ることを目的としたもので、本町での開催は平成20年の開催以来、実に17年振りとなりました。

令和6年度事業報告

○理事会 3回開催（5月、12月、3月）

○評議員会 2回開催（6月、3月）

○小地域福祉活動事業

- ・6町内会（合計665世帯）において、高齢者見守り福祉カードの作成（156世帯）及び定期的な声掛け・見守り活動（78世帯）を行いました。各町内会単位で定めた見守りが必要と思われる世帯に対し見守りカードの作成、そのうち定期的な声掛けや見守りを希望された方に対し、安否確認を兼ねた声掛け訪問などを町内会単位で実施していただきました。（年間延べ1,297回実施）

○介護保険サービス

- ・訪問介護事業 月平均136名利用（年間延べ11,019回のヘルパー訪問）
- ・居宅介護支援事業 月平均 68名利用（介護サービス計画《ケアプラン》の作成）
- ・福祉用具貸与事業 月平均 29名利用（電動ベッド、車椅子、歩行器、手すり、スロープ等の貸与）

○障害福祉サービス

- ・居宅介護事業 月平均6名利用（年間延べ195回のヘルパー訪問）
- ・重度訪問介護事業 月平均1名利用（年間延べ38回のヘルパー訪問）

○受託事業

- ・生活支援指導訪問事業 利用者1名（年間延べ95回の訪問）
- ・訪問給食サービス事業 月平均52名利用（年間延べ9,966食配送）
- ・手話奉仕員養成講座（岩手4町村） 受講生7名（手話奉仕員養成講座〔入門課程〕実施）
- ・日常生活自立支援事業 利用者5名（年間延べ62回の訪問及び207回の電話相談）
- ・電話サービス事業 緊急通報システム利用者に対し毎月1回電話による安否確認（月平均45名に対し年間延べ544回実施）
- ・生活支援コーディネーターの配置 現任職員2名を第一層生活支援コーディネーターとして配置

○赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

○赤い羽根共同募金助成金による事業

- ・高齢者ふれあい昼食会 2回開催（6月東宮園地区43名参加、9月大和・御崎・野束・敷島内地区45名参加）
- ・高齢者ふれあいパークゴルフ大会（7月開催 26名参加 男性13名 女性13名）
- ・男の料理教室（10月開催 14名参加）
- ・要保護世帯児童修学旅行援助事業（対象者20名）
- ・ボランティア団体及び当事者団体活動助成事業
- ・老人クラブ団体活動助成事業
- ・社協だより発行（12月）



東宮園地区
高齢者ふれあい
昼食会



男の料理教室
を教室で
行った
料理

○歳末たすけあい運動（12月1日～12月25日）

○歳末たすけあい募金助成金による事業

- ・要保護世帯へ歳末見舞金支給（63世帯に支給）
- ・児童施設入所者へ歳末見舞金支給（55名に支給）
- ・各福祉施設、団体へ歳末見舞金支給（2団体に助成）
- ・歳末福祉パトロール（口取り配布）事業（592件に配布）

○福祉資金貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業（実施主体：北海道社会福祉協議会）…貸付決定件数1件
- ・愛情金庫貸付事業（実施主体：岩内町社会福祉協議会）…貸付件数43件

○指定管理者事業

- ・岩内町デイサービスセンター管理運営事業 1日平均13名利用（年間延べ利用者数3,819名）
- ・岩内町老人福祉センター管理運営事業 センター利用者年間延べ人数30,578名（入浴利用者数23,946名）

○ボランティア活動関連

- ・社協ボランティア「いきがい」活動 アルミ缶つぶし、タイヤ交換等年間延べ4件の生活支援活動
- ・ボランティアグループ「火曜会」活動（声かけ訪問、電話サービス）
月平均5名利用（年間延べ112回の訪問及び電話での声掛け）
- ・ボランティア保険取扱事務…10件、計154名に対しての取扱事務対応
- ・有償ボランティア活動…利用会員394名に対し協力会員37名により、合計529回の種々の支援を実施。



（無償で車いすや歩行器を短期間貸し出す）



（有償ボランティアによる作業機材のリース）

○その他

- ・手話通訳派遣事業（岩宇4町村、寿都町共同事業）年間延べ35回派遣
- ・古切手、アルミ缶、リングプルの収集
- ・福祉ベッド7件、車いす24件、ポータブルトイレ5件、歩行器5件、入浴補助用具25件、杖1件の無償貸与
- ・車いす移送サービス事業 登録利用者数61名（年間延べ989回運行）

令和6年度 岩内町社会福祉協議会収支決算

貸借対照表（令和7年3月31日現在） 単位：千円

令和6年度資金収支計算書

単位：千円

資 産 の 部			負 債 の 部			収入科目			予算額	決算額	差 異	支出科目			予算額	決算額	差 異
・流動資産		26,182	・流動負債		13,591	会費収入		1,800	1,580	△ 220	人件費支出	111,513	108,716	△ 2,797			
	現金預金	14,296		事業未払金	12,132	寄附金収入		300	68	△ 232	事業費支出	28,546	26,720	△ 1,826			
	事業未収金	11,874		職員預り金	1,357	経常経費補助金収入		25,622	25,600	△ 22	事務費支出	14,148	12,858	△ 1,290			
	前払金	12		前受金	102	受託金収入		72,196	69,928	△ 2,268	貸付事業支出	846	846	0			
・固定資産		43,637	・固定負債		32,014	貸付事業収入		679	776	97	共同募金配分金事業費	1,579	1,578	△ 1			
	定期預金	1,000		退職給付引当金	32,014	事業収入		237	215	△ 22	助成金支出	254	234	△ 20			
	建物	1				福祉有償運送事業収入		490	320	△ 170	負担金支出	375	355	△ 20			
	車輛運搬具	1,587				負担金収入		300	300	0	流動資産評価額等による資金減少額	80	80	0			
	器具及び備品	170				介護保険事業収入		55,780	50,812	△ 4,968							
	愛情資金貸付金	560		負債の部合計	45,605	障害福祉サービス等事業収入		800	826	26							
	退職給付引当資産	32,014		純資産の部		受取利息配当金収入		2	0	△ 2							
	財政調整積立資産	5,775		・国庫補助金等特別積立金	313	その他の収入		1,050	2,964	1,914							
	基盤強化基金積立資産	2,319		・その他の積立金	10,360	積立資産取崩収入					固定資産取得支出	2,313	2,313	0			
	車輛更新資金基金積立資産	211		基本財産積立金	1,000	事業区分間繰入金収入		1,400	0	△ 1,400	積立資産支出	3,157	2,834	△ 323			
				財産調整積立金	5,775	拠点区分間繰入金収入		4,398	0	△ 4,398	事業区分間繰入金支出	1,400	0	△ 1,400			
				基盤強化基金積立金	2,319	サービス区分間繰入金収入		2,769	0	△ 2,769	拠点区分間繰入金支出	4,398	0	△ 4,398			
				車輛更新資金基金積立金	211	①当期資金収入計		170,136	155,702	△ 14,434	サービス区分間繰入金支出	2,612	0	△ 2,612			
				愛情金庫積立金	1,055						②当期資金支出計	171,221	156,534	△ 14,687			
				・次期繰越活動増減差額	13,541						③予備費	12,345		12,345			
				純資産の部合計	24,214	当期資金収支差額合計 ④＝①－②－③					△ 13,430	△ 832	12,598				
				負債及び純資産の部合計	69,819	前期末支払資金残高 ⑤					13,430	13,423	△ 7				
資産の部合計	69,819					当期末支払資金残高 ⑥＝④＋⑤					0	12,591	12,591				

令和7年度岩内町社会福祉協議会事業方針

- (1) 人口減少・少子高齢化、住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題も複雑・多様化する中で、公的サービスだけでは対応しきれないほど様々な問題が広がりを見せている。
 今年は団塊の世代全てが後期高齢者となる年であり、今後、高齢に伴う様々な支援のニーズが益々増加することが予測されるなか、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むためにも、国が掲げる地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会を目指す必要がある、そのためにも、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる地域共生社会の実現に向け、本会では生活支援コーディネーター事業や有償ボランティア活動、ふれあいネットワーク活動に取り組んでいるが、引続きその充実を図り、支援が必要な高齢者等が住み慣れたまちで生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を目指し、関係機関と連携のもと推進して参ります。
- (2) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業は、毎年数件の新規相談があり、また利用者数も横ばい状況であります。しかしながら、まだまだ潜在する要介護者や準要介護者は多くいるものと推測され、今後、利用者が増加することも見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。
- (3) 有償ボランティア活動は、公的なサービスでは対応できない除雪や草刈り、ごみ出し、外出支援など日常生活上の困りごとに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれております。
 その活動は広く認知されておりますが、協会の確保、増強が課題であります。
 これまでの地道な周知活動により新規協力会員も数名あり一定の効果はあったものの充足されてはいることから、今後も町広報誌や防災無線、口コミでの声かけ等、地道な周知活動を継続するとともにボランティア団体との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりに努めて参ります。
- (4) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。
 これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。
 そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制（ふれあいネットワーク活動）づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。
- (5) 介護保険事業については、昨年の法改正により介護サービス提供者への報酬が全体で1.59%引き上げられた一方、訪問介護に至っては2～3%減となる報酬改定でありました。また全国的に介護人材の不足が深刻しているなか、当事業所においてもホームヘルパーが不足していることから通院介護の在り方について見直し、新たに「通院等乗降介助」を導入し昨年5月より移行したところではありますが、人手不足によるサービスの供給不足の改善を目的としての導入であったことから収入減につながっております。
 当事業所としてはこれまで収支均衡が図られるよう人材の質の確保や介護職員の活動環境の整備を行っている事業所に認められる特定事業所加算や介護職員等の処遇を改善するために賃金改善や資質の向上等の取り組みを行う事業所に認められる介護職員等処遇改善加算を取得していたところですが、加算による更なる増収を目指すため今年4月より特別地域加算を再取得することとし、加算要件の対象区域にある岩内町デイサービスセンター内に訪問介護事業所を移転することとなります。
 岩内町社協が実施する訪問介護事業所は町内において主軸事業所であり、高齢で介護が必要な状態になっても在宅で安心して生活するためには必要不可欠なものであります。基本報酬の引き下げや、人員不足に伴う減収等、厳しい状況ではありますが、適正な人事労務管理に努めて参ります。
- (6) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。
- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。
- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員の資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。

令和7年度岩内町社会福祉協議会収支予算

単位：千円

資 金 収 入 の 部				資 金 支 出 の 部			
科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	科 目	本年度予算	前年度予算	増 減
会 費 収 入	1,600	1,800	△ 200	人 件 費 支 出	112,242	111,897	345
寄 附 金 収 入	100	300	△ 200	事 業 費 支 出	30,367	28,125	2,242
経常経費補助金収入	27,664	25,507	2,157	事 務 費 支 出	13,669	14,198	△ 529
受 託 金 収 入	75,113	72,196	2,917	貸 付 事 業 支 出	800	800	0
貸 付 事 業 収 入	649	599	50	共同募金配分金事業費	1,589	1,464	125
事 業 収 入	226	237	△ 11	助 成 金 支 出	234	464	△ 230
福祉有償運送事業収入	360	490	△ 130	負 担 金 支 出	373	375	△ 2
負 担 金 収 入	380	300	80	積 立 資 産 支 出	2,801	3,137	△ 336
介護保険事業収入	55,560	55,140	420	事業区分間繰入金支出	0	1,400	△ 1,400
障害福祉サービス等事業収入	600	1,800	△ 1,200	拠点区分間繰入金支出	4,558	4,398	160
受取利息配当金収入	2	2	0	サービス区分間繰入金支出	688	1,769	△ 1,081
そ の 他 の 収 入	970	1,050	△ 80				
事業区分間繰入金収入	0	1,400	△ 1,400				
拠点区分間繰入金収入	4,558	4,398	160				
サービス区分間繰入金収入	688	1,769	△ 1,081				
当 期 収 入 額 計	168,470	166,988	1,482	当 期 支 出 額 計	167,321	168,027	△ 706
前期末支払資金残高	11,150	13,430	△ 2,280	予 備 費	12,299	12,391	△ 92
収 入 合 計	179,620	180,418	△ 798	支 出 合 計	179,620	180,418	△ 798

～認知症月間～ もっと知ろう！認知症映画上映会を開催しました

～認知症月間～
もっと知ろう！認知症
映画上映会のおしらせ

【と き】 令和7年9月16日（火）
開場13:00 開演13:30

【ところ】 岩内地方文化センター 大ホール

入場無料
申込みは不要です
直接会場へお越しください
会場（大ホール）内は飲食禁止です

『認知症になっても住み慣れた
地域で過ごしたい』
そんな願いを叶えられる岩内町を
皆さんでつくませんか？

【共 催】 岩内町認知症の人を支える家族の会、岩内町社会福祉協議会、岩内町地域包括支援センター
【後 援】 岩内町

【問合せ】 岩内町社会福祉協議会 電話 0135-61-4567

9月21日は『世界アルツハイマーデー』ということで世界的に、この日を中心に認知症の啓発を実施しており、日本においても、同日を『認知症の日』、そして9月を『認知症月間』と定めております。

そこで岩内町社協では9月16日（火）岩内地方文化センター大ホールにて岩内町地域包括支援センター及び岩内町認知症の人を支える家族の会（ゆずりはの会）共催のもと映画上映会を初めて開催。当日は110名の方が来場され1時間40分真剣なまなざしで映画を鑑賞されておりました。

今回はドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』を上映。本作品は監督である信友直子さん自らが両親の老々介護を娘である『私』の視点から丹念に見つめる作品で、80代後半の母がアルツハイマー型認知症と診断され、90歳を超えた父が在宅で妻の介護する日々が始まるというものです。最初は父が今までやったことのない家事をしながら母を一人で介護していたのですが徐々に負担が生じ、途中で介護保険サービスの利用を決断。サービス開始にあたり、介護保険サービス利用に伴う計画書を作成する地域包括支援センターのケアマネジャーさんの支援や訪問介護のヘルパーさんによる家事支援を受けながら、デイサービスセンターも利用して在宅生活を続けていくというものであります。来場された皆様には本作品をご視聴いただき認知症についての理解と関心を少しでも深めていただけたものと考えております。

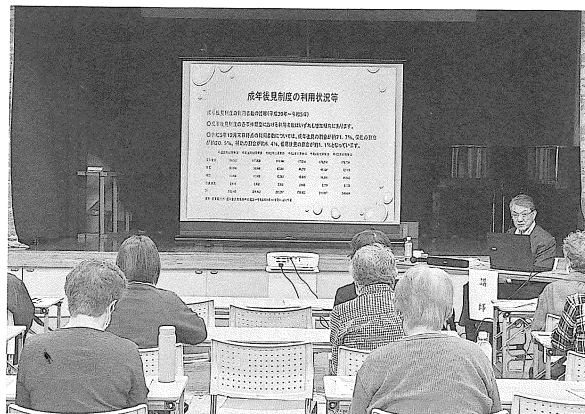
なお、岩内町社協では映画でも紹介されたケアマネジャーが2名常勤しているほか、訪問介護事業所（ヘルパー）の運営。また、デイサービスセンターも町より指定管理者として指定され事業運営しております。在宅介護にお困りの方はお気軽にご相談ください。（電話 62-3328）

終活セミナーを開催しました

岩内町社協では、10月16日（木）岩内町老人福祉センターにて小樽公証役場 公証人 羽澤勝夫氏を講師に迎え「終活セミナー 将来の安心のため、今から備えられる任意後見制度について学ぼう」をテーマとして、岩内町地域包括支援センター及び岩内町認知症の人を支える家族の会（ゆずりはの会）と共催のもと実施いたしました。

今回のテーマである「任意後見制度」とは、まだ判断能力が十分あるうちに、事前に支援する人（任意後見受任者）や支援内容をあらかじめ公証人が作成する公正証書によって任意後見契約を締結するもので、本人の能力が欠けたり不十分になったときに、本人、一定範囲の親族、任意後見受任者から家庭裁判所に申立てすることで任意後見契約の効力が発生するものであります。

当日は26名が参加。最初に約10分間「任意後見契約は老後の安心設計」と題したDVDを参加者に視聴して頂いたのち、パワーポイントによる進行にて事前に用意された資料やパンフレットを活用し約1時間半、講師の貴重なお話を聞くことが出来ました。



任期満了に伴い役員・評議員の改選を行いました

任期:令和7年6月18日から令和9年度定時評議員会の終結の時まで

職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	千 葉 正 憲	理 事	田 中 洋 子
副 会 長	藤 居 久 子	"	佐々木 達 也
"	小 熊 孝 幸	"	大 高 貴 司(新任)
理 事	花 田 敏 正	"	井 家 基 博
"	高 橋 一 彦	常務理事	本 間 康 弘
"	佐 藤 良 裕	監 事	山 出 博 之
"	松 本 澄	"	久 米 留李子

評 議 員 (15名)

任期:令和7年6月18日から令和11年度定時評議員会の終結の時まで

土 井 浩	米 澤 光 則	山 口 賢 三
吉 田 昌 人(新任)	鈴 木 雅 紀(新任)	青 山 孝(新任)
野 澤 武 夫	大久保 義 喜	小 野 裕
石 田 美由紀	勝 山 一 枝	鶴 賀 ゆかり(新任)
松 田 記 夫	小 林 功	和 崎 聖 子(新任)

歳末たすけあい運動及び赤い羽根共同募金へのご協力をお願い致します!!

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から、12月1日からは歳末たすけあい運動が全国一斉に始まります。今年度においても皆様からのご理解を頂き募金のご協力の方をお願いいたします。なお昨年度実績においては以下の通りとなっております。



歳末見舞金交付のお知らせ

岩内町社会福祉協議会では、次の低所得世帯に対し少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金を財源として「歳末見舞金」を交付いたします。

(交付予定額 1世帯あたり7,000円)

※歳末たすけあい募金実績により交付金額が変動する場合があります。

- 【対象世帯】 ①75歳以上の単身世帯
 ②その他75歳以上の方のみで構成される世帯
 ★令和7年度の町民税が非課税世帯であること。
 ★令和6年中の収入が、単身世帯で106万円以下、複数世帯で157万円以下であること。
 ※年齢は数え年(昭和26年12月31日以前に生まれた方)
 ※生活保護受給世帯及び入院中、施設入所中の方は対象外となります。
 ※住民票上世帯分離していても、同じ家に住んでいる場合は同居とみなします。

【申込み方法】

- 申請窓口 岩内町社会福祉協議会または地区の民生委員。
 社協まで申請に来られない方は、地区の民生委員までご連絡下さい。
- 必要なもの 印鑑、遺族年金または障害年金を受給されている方は、受給額がわかるもの
- しめきり 令和7年12月12日(金)まで
- お問い合わせ 社会福祉法人岩内町社会福祉協議会
 岩内町字清住167番地(岩内町老人福祉センター内)
 電話 62-3328 FAX 62-3859

令和6年度 共同募金実績

昨年度の共同募金は

戸別募金	553千円
街頭募金	31千円
職域募金	62千円
その他	503千円
計	1,149千円

併せて1,149千円と多くの方々よりご協力をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

なお岩内町社協へは388千円が助成され、貴重な財源として児童福祉、老人福祉、ボランティア活動に使われています。

令和6年度 歳末たすけあい実績

収 入	127件	983,837円
前年度繰越金		817,765円

助成内訳

低所得高齢者世帯	63件	441,000円
児童施設入所者	55件	110,000円
施設・団体配分	2件	60,000円
歳末福祉パトロール	592件	503,200円
計		1,114,200円